

オーブリースカンカンフレンス
2018 Osaka

OSSライセンスと著作権法のポイント

～世迷いごとを斬る

2018年1月26日

NEC OSS推進センター・姉崎雷鳴

Orchestrating a brighter world

未来に向かって、ひがむか。常にこなしておきたいもの。
それは「登録」「登録」「登録」（公）といふ過度な規制だのです。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術を駆使つ
て、社会の課題を解決するためのソリューションを提供します。

また、NECは、世界中の多くの企業や組織と連携することで、
世界をよりよくしていきたいと考えています。

OSSとは OSS : Open Source Software

【大きな柱】OSSのソースコードが入手でき、ソースコードの改変と手を組むためのライセンスの両面で認められているソフトウェア

なので、「OSSがOSSライセンスのベースの共通項」という説明はおかしい

OSDL「オープンソースの基盤」でも、「オープンソース・ライセンスの基盤」ではない

それが新しくLinuxなども含むOSSが持つ特徴

OSSを認定する団体OSSIは、1998年に新しくオープンソースの定義を「ライセンス

1 再頒布の自由

2 ソースコード

3 源流ソフトウェア

4 作者のソースコードの完全性(Attribution)

5 個人やグループに対する差別的禁止

OSSのメリット

無償で入手できるものが多いため、初期導入コストの抑制が可能

自分で充実してから販路導入可能

ただし、すでに丸投げすれば、開発による可能性大

入手手順がソースコードを解析し、自分のものにすれば費用対効率が大きい

▶ OSSの特質は、理解した者にメリットがある

ITシステム導入 OSSを専門的に扱う OSSを専門的に扱う OSSの特質も同じ

仕事で電気工学科の学生がOSS活用経験

新規開発の際に既存の技術を活用して自己成長

トヨタ車のOSSを専門的に扱う

OSSを専門的に扱う

知識の習得ではなく、理解しよう
OSS専門業者を自認する企業の人
根拠の無い、聞いただけの話を繰り返している？！
いい加減な表現を習得しては危険でしょう。

「著作権」というもの理解して、
著作権に関わる記述としてライセンス条文を理解する、
そんな**根拠**や論理が真っ当な思考を心がけましょう。

企業ソフト開発者が著作権侵害をしないために、どうすればよいのか？
■ Webサイトに公開しているリーフレットにて一つの表を紹介しています
<http://jpn.nec.com/oss/osslicenscheckleaflet.pdf>

【OSSライセンスと著作権法】セミナー(5H)の構成
■順序立てで、オンライン形式によると、5時間はかかるが実施してほしい
第1章 OSSは一般に他人の著作物
第2章 著作物の「利用」とは「著作権の行使」
第3章 ライセンス違反は著作権侵害
第4章 著作権行使の許諾と理解して
各OSSライセンスの条文を読む
第5章 結合著作物に関する詳細と新たな問題
第6章 基本的な対策例
補遺 GPLv3についてなど
補遺2 体制例

社内の啓発活動に、無料セミナーをご利用ください
<http://jpn.nec.com/oss/osslic/>

\Orchestrating a brighter world

NEC